

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31105	キャリアデザインⅢ Career Design Ⅲ	河合 龍二・ 今泉 充啓			1	選択	1後期
科目の概要							
数学的思考、一般常識、言語理解を中心に学修する。就職試験、公務員試験等では、考え抜く力や論理的思考力を問われる。時事問題と関連付けたアクティブ・ラーニングを通して、社会全般について理解を深める。（ディプロマ・ポリシー②④⑥） ＊第1週から第5週は、数学の演習によって数学的なものの見方・考え方を広げる。第6週から第10週は、社会問題・時事問題を扱う。第11週から第15週は、日本語の語彙力・読解力・表現力の講義・演習を行う。							
学修内容			到達目標				
① 就職試験に必要な言語知識や計算方法を理解し、応用力を高める。 ② 文章問題に取り組み、数式で表す論理力を高める。 ③ 就職試験で取り上げられる社会問題に取り組み、判断力を高める。 ④ 時事問題を調査分析し、その中から課題を発見し、他者に伝達できる。			① 基礎的な問題を、正確かつ短時間で解く力を身に付けることができる。（ディプロマ・ポリシー②④） ② 文章問題に取り組み、論理的に物事を考える力を身に付けることができる。（ディプロマ・ポリシー②④） ③ 社会問題に取り組み、判断力を身に付けることができる。（ディプロマ・ポリシー②④⑥） ④ 時事問題に興味関心をもち、調査分析し、他者に伝達することができる。（ディプロマ・ポリシー②④⑥）				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題に対して受け身ではなく、自ら今やるべきことを選択し、必要に応じて文献等を調べて自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	自らやるべきことに対する目標を設定し、具体的に行動し、粘り強く取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	社会の動きに関心をもち、現状に対して自ら課題を見つけ、憶測や思い込みではなく事実に基づいた情報を客観的に整理分析し、発見した課題を他者へ示すことができる。					
	計画力						
	創造力	既存の物事、出来事にとらわれることなく、新しい事柄を考えていくことができる。					
チームで働く力	発信力	自分の意見を他者へ理解してもらえるように、自分の調べたことや考えを整理し的確に伝えることができ、発表時には、発表の仕方を工夫し他者に伝わりやすい発表ができる。					
	傾聴力	他者が話しやすいような雰囲気を含め、話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問する等、他者の意見を引き出すことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しない。毎回プリントを配付するので、各自でファイルを用意すること 参考文献：毎日生じるニュース（時事）全てが参考になる。新聞やWeb等で、積極的に情報収集すること。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：上級秘書士（メディカル秘書）							
学修上の助言			受講生とのルール				
就職試験で必要とされる基礎学力を重視する。第1～5回は、数学の解法を通じて数学的なものの見方・考え方を広げる。第6～10回は、社会の動きに関する一般常識を扱う。第10～15回は、語彙力・読解力・表現力を養う。必ず復習し、身に付けよう。			第6週以降は気になった記事について発表する時間を設けるので、新聞やWeb上のニュース記事を読む習慣をつけよう。また、グループディスカッションを取り入れた授業となるので、協力しよう。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓			・授業で扱った数学の解法や公式、社会常識と時事問題、日本語力の定着を確認する。 ・出題の中にpisa型学力を確認する問題も含む。 ・次の到達レベルをもって合格の基準とする。 就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を80%程度有する…S 就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を70%程度有する…A 就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を60%程度有する…B 就職試験程度の数学・一般常識・数日本語の学力を50%程度有する…C Cのレベルに達してない・・・F
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
	平常評価	小テスト	20	①	✓			・学修内容が定着するよう、小テストを適宜実施する。 ・諦めず、地道に問題に取り組んでいるか、テストに臨む態度等も含め評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		レポート	20	①	✓			・レポートを適宜課す。 ・与えられたテーマについて調べ、対話し、ものの見方・考え方の深まりを測る。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）・課題、提出物について自身で調査・分析を行う等、自己学修ができる。 （実行力）・課題に対する目標を設定し、目標達成に向け途中で投げ出すことなく取り組むことができる。 （課題発見力）・時事問題に対して自ら課題を見付け、事実に基づいた情報を客観的に整理分析することができる。 （創造力）・調査した時事問題に対し、新たな対策などのアイデアを考察することができる。 （発信力）・グループ活動において自分の意見の要点を整理し、他者に伝わりやすいように的確に伝えることができる。 （傾聴力）・グループ活動において発言者に対し「あいづち」や「うなづき」を取り入れ、話を聞く姿勢ができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Sは、就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を80%程度有し、グループディスカッションなどで適切な自己表現と他者とのコミュニケーションが円滑にとれていること。 Aは、就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を70%程度有し、グループディスカッションなどで適切な自己表現と他者とのコミュニケーションが円滑にとれていること。	Bは、就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を60%程度有し、グループディスカッションなどで自己表現と他者とのコミュニケーションが成立していること。 Cは、就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を50%程度有し、グループディスカッションなどで自己表現と他者とのコミュニケーションが成立していること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	シラバスを参照しながら、 講義・演習などの授業の方法と小テスト、予習復習、 評価方法などについて説明する。 (河合龍二) 就職試験対応力向上Ⅰ 数理領域：義務教育レベル で履修した重要公式・定理 の活用 (今泉充啓)	講義・演習	授業時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野と不足している分野について明確にすることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく。 (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する。	90	実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
2	就職試験対応力向上Ⅱ 数理領域：適性検査 「速度算シリーズ」の 根本理解と応用 (今泉充啓)	講義・演習	授業時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野と不足している分野について明確にすることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく。 (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	就職試験対応力向上Ⅲ 数理領域：適性検査 「割合シリーズ」の根本理解と応用 (今泉充啓)	講義・演習	授業時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野と不足している分野について明確にすることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく。 (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	就職試験対応力向上Ⅳ 数理領域：適性検査 「損益算・濃度算」の根本理解と応用 (今泉充啓)	講義・演習	授業時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野と不足している分野について明確にすることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく。 (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	就職試験対応力向上Ⅴ 数理領域：適性検査 「仕事算・水槽算」の根本理解と応用 (今泉充啓)	講義・演習	授業時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野と不足している分野について明確にすることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく。 (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	就職試験にトライ 過去のSPI等の問題に トライして、現在の自分の位置を知り、今後の目標と目標達成のための方策を練る。 (河合龍二)	講義・演習	制限時間内に真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野と理解が不足している分野について明確にすることができる。	(復習) 授業で扱った問題を自力で解けるように見直すこと。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	就職試験対応力向上Ⅰ (1) 社会常識領域：「地理」 (2) 時事問題：各自の リサーチした時事問題に関する発表、 ディスカッション (河合龍二)	小テスト・講義・プレゼンテーション・ディスカッション	①授業時間中、真剣に問題に取り組むことができる ②予習内容のプレゼンテーションが適切に行える ③積極的にディスカッションに参加できる。	(予習) 小テスト対策をしておくこと。自分が気になっている時事問題のプレゼンテーションの準備をしておくこと。 (復習) 授業で扱った問題を自力で解けるように見直すこと	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	就職試験対応力向上Ⅱ (1) 社会常識領域：「歴史」 (2) 時事問題：各自の リサーチした時事問題に関する発表、 ディスカッション (河合龍二)	小テスト・講義・プレゼンテーション・ディスカッション	①授業時間中、真剣に問題に取り組むことができる ②予習内容のプレゼンテーションが適切に行える ③積極的にディスカッションに参加できる。	(予習) 小テスト対策をしておくこと。自分が気になっている時事問題のプレゼンテーションの準備をしておくこと。 (復習) 授業で扱った問題を自力で解けるように見直すこと	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	就職試験対応力向上Ⅲ (1) 社会常識領域：「政治・経済」「国際関係・環境」 (2) 時事問題：各自のリサーチした時事問題に関する発表、ディスカッション (河合龍二)	小テスト・講義・プレゼンテーション・ディスカッション	①授業時間中、真剣に問題に取り組むことができる ②予習内容のプレゼンテーションが適切に行える ③積極的にディスカッションに参加できる。	(予習) 小テスト対策をしておくこと。自分が気になっている時事問題のプレゼンテーションの準備をしておくこと。 (復習) 授業で扱った問題を自力で解けるように見直すこと	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	オンデマンド 時事問題の補足とまとめ (河合龍二)	視聴とレポート提出 6～9回のまとめとして、興味関心のある時事問題を取り上げ、自らの意見を記述する。	期限を守ってレポートを提出できる。	(復習) レポートで扱った内容以外の時事問題についても調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	語彙力と四技能（読む、書く、話す、聞く）の重要性を知る。 ※今後、常活動として「ボキャブラリーシート」「3テーマシート」を使ったトレーニングをする。 (河合龍二)	「ボキャブラリーシート」「3テーマシート」を使って、自らの意見を発信し、他者の意見を傾聴するワークショップを実施する。	ワークショップに積極的に参加し、語彙力と四技能の大切さを知る。	(復習) ボキャブラリーシートのまとめをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	一般教養試験対策として、同訓異字、同音異義、難読語、四字熟語などの問題に取り組む。 (河合龍二)	演習問題に取り組み、学び合いで解答にいたる。PCを用いて調べ学習をする。調べた語句は「オリジナル辞書」として、PCフォルダに蓄積していく。	同訓異字、同音異義、難読語、四字熟語の読み書きができる。	(復習) 配付したプリントにより、同訓異字、同音異義、難読語、四字熟語など語彙力を身に付ける。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	一般教養試験対策として、ことわざ・慣用句などの問題に取り組む。 (河合龍二)	同訓異字、同音異義、難読語、四字熟語の小テストを行う。演習問題に取り組み、学び合いで解答にいたる。PCを用いて調べ学習をする。調べた語句は「オリジナル辞書」として、PCフォルダに蓄積していく。	ことわざ・慣用句を知り、折に触れて使えるようにする。	(予習) 小テストの範囲である同訓異字、同音異義、難読語、四字熟語を学修する。 (復習) ことわざ・慣用句を暗記する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	表現力の向上を目標に、一般教養試験対策としても、小論文作成の手順や文章構成の方法を学び、テーマ型小論文に取り組む。 (河合龍二)	ことわざ・慣用句の小テスト行う。 小論文作成に取り組み、学び合いでものの見方・考え方を広げる。「SDS」「PREP」「KPT」といった文章構成を知る。PCを用いて調べ学習をする。調べた語句は「オリジナル辞書」として、PCフォルダに蓄積していく。	400字のテーマ型小論文を時間内に完成し、発表できる。	(予習) 小テストの範囲であることわざ・慣用句を学修する。 (復習) 他からの助言を踏まえて、テーマ型小論文の校正をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	表現力の向上を目標に、一般教養試験対策としても、小論文作成の手順や文章構成の方法を学び、読解型小論文に取り組む。 (河合龍二)	小論文作成に取り組み、学び合いでものの見方・考え方を広げる。「SDS」「PREP」「KPT」といった文章構成を知る。PCを用いて調べ学習をする。調べた語句は「オリジナル辞書」として、PCフォルダに蓄積していく。	400字の読解型小論文を時間内に完成し、発表できる。	(復習) 他からの助言を踏まえて、読解型小論文の校正する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力